

映像豆知識 動画配信サービス 第2幕スタート



以前、当ニュースレターで動画配信サービス特集してから約3年半が経ち、日本の動画配信サービスの状況は様変わりしました。当時は「Netflix」や「Amazon Prime Video」もサービスが始まったばかりで、まだまだこれから、という状況でしたが、今では様々な分野でサブスクリプションが普及し、動画配信サービスもその流れに乗って一気に普及してきた感があります。今回は改めて動画配信サービスの現状とこれからについて考察し、おすすめの動画配信サービスを探って行きたいと思います。

有料動画配信サービスが有料放送を超えている

映像コンテンツを視聴する手段としては、「放送」と「インターネット」そしてDVDなどの「物理メディア」の3つに分かれます。「定額制の有料」という範疇で考えた場合、放送には「スカパー」や「WOWWOW」、インターネットには「Amazon Prime Video」や「Netflix」、物理メディアには定額制DVDレンタルの「TSUTAYA DISCAS」などがあります。最近の調査によりますと、定額制の有料サービスの利用率ではインターネットによる動画配信サービスが放送サービスを超えたということです。もはや映像はネット経由で見るのが当たり前前の時代になってきたということでしょう。

有料動画配信はAmazonとdTVの2強?



次に有料動画配信のサービスの現状を見ると、Amazonのサービスである「Amazon Prime Video」とNTTドコモが運営する「dTV」が利用者数500万人以上で2強という状況のようです。ただしこれは単に利用者数に着目したもので、実際の利用者の話ではありません。「Amazon Prime Video」は、Amazonのプライム会員になると自動的に利用できるサービスなので、純粋に映像コンテンツを見る目的だけで加入しているユーザーではない人も含まれています。dTVもドコモの割引セットオプション契約の流れで利用しているユーザーも多いと思われれます。

純粋に映像コンテンツ目的の利用者で考えると、



「Hulu」と「Netflix」が2強ということになるでしょう。共にユーザー数は150万を超えている模様です。「Hulu」は日本に一早く参入し、日本テレビが資本参入しているので、日本人向けのコンテンツが充実しているのも、日本市場で確固たる地位を築いています。「Netflix」は全世界で1億人以上のユーザーを抱える世界No.1の動画配信サービスサービスです。特にNetflix制作オリジナル作品は非常にクオリティが高く、今年はアカデミー賞を取る取らないで揉めるほどにまで既存の映像業界を揺るがすほどです。3年半前にご紹介した時は、サービス開始直後でコンテンツが少なかったのですが、今ではNetflixオリジナル作品も含めコンテンツも充実しています。

専門系サービスも台頭



映画やドラマを主体としたAmazonやNetflixとは異なり、最近では専門ジャンルのコンテンツを配信するサービスも台頭して来ました。サッカーを始めとするスポーツ専門の「DAZN」は、docomoとの提携もあり、加入者数を増やしています。従来スポーツ系のコンテンツはスカパーやWOWWOWなどの専門チャンネルで提供されていたのですが、それを徐々にDAZNが侵食している状況です。

もう一つはディズニー系です。docomoと共同展開する「Disney DELUXE」は、「ディズニー」「ピクサー」「スターウォーズ」「マーベル」の4ブランドの映像が見られるサービスです。お子さんのいる家庭にとっては、強力なコンテンツとなるでしょう。



音楽系では、YouTubeが「YouTube Music」を提供しています。YouTubeの音楽専門サービスで、YouTubeの中のミュージックビデオを見たり、音楽を聴いたりすることができます。有料サービスを利用することで、バックグラウンドやオフラインで、広告なしで音楽を楽しむことができます。

いよいよ2大巨頭が本格参戦!



世界的に見ると、動画配信サービスはNetflixの一人勝ち状態ですが、2019年の秋、これに対抗すべく2つの巨大企業がいよいよ動き出します。それはAppleとディズニーです。

Appleは「Apple TV+」という名で2019年11月までに動画配信サービスを提供することを発表しています。Netflixと同じように、オリジナル作品に注力するようで、「スピルバーク」や「J.J.エイブラムス」など名だたるクリエイターに制作を依頼しているようです。Appleは制作費に約7,000億円を費やす意気込みです。ちなみにNetflixは約1兆6千億円をかけています。桁外れな金額ですね。

一方ディズニーは「Disney+」という名で2019年11月に動画配信サービスを提供する予定です。ディズニーのコンテンツ力は言うまでもありませんし、米国ではHuluを買収し、ディズニーアニメ以外のコンテンツも充実させるようです。そしてNetflixからディズニーコンテンツを引き上げる・・・という戦略に打って出ます。日本国内ではHuluは日本テレビ傘下にあり、ディズニーも前出の「Disney DELUXE」を提供するなど独自展開をしているので、日本で「Disney+」がどのように展開されるかはまだわかりませんが、そのコンテンツ力からしてNetflixの強力なライバルになることは間違いないでしょう。

今後はどうなる?

このように目まぐるしく変わっていく動画配信業界ですが、今後はどうなっていくのでしょうか?あくまで私個人の予想としましては、世界的に「Disney+」と「Netflix」の2つに集約して行き、Amazonは中立的なディストリビューターとして両社の良いところを取りをしていくのではないのでしょうか。Appleはオリジナル作品以外の動向が見えないので何とも言えないのですが、コンテンツプロバイダー的な位置付けとなり、自社のサービスとしてはサブスクリプションではなく従来のApple TVの延長線上、つまりPPV(その都度購入して視聴)的な視聴形態が中心となるのではないのでしょうか。日本国内でも早かれ遅かれ「Disney+」と「Netflix」に集約され、docomoなどがamazonと同じように中立的な立場でディストリビューターになって行くかと予想します。

結局どのサービスが良いか?

現状日本国内では各サービスの方向性が若干異なってきたので、視聴目的や趣向によってどのサービスを選べば良いかが異なってきます。

- スマホメインで通勤中など国内コンテンツを見たい …… dTV
- たまに映画やアニメなど軽く楽しみたい …… Amazon Prime Video
- 海外ドラマなども含め休日や夜中にじっくり楽しみたい… Hulu or Netflix
- 高クオリティなNetflixオリジナル作品をじっくり見たい… Netflix
- スポーツ好きなら …… DAZN
- 子供さんのいるご家庭 …… Disney+

今後はAppleやディズニーの参入でまた状況が変わってくると思いますが、各サービスがもう少しづつ安くなればいいですね。例えば、「Disney+」+「Netflix」+「DAZN」の3つを合わせてNHKの月額受信料以下で視聴できるようになれば理想的ですね。

クーポンNo. NL20300

クーポンNo. NL20800

クーポンNo. NL201500

ダビングセンター
全サービスに使える!

割引クーポン
プレゼント!!

クーポンを切り取りご提示頂くか
注文フォームのキャンペーン欄に
クーポンNo.をご記入ください。

ダビングセンター全サービス対象
5,000円以上ご利用で
300円割引クーポン
有効期限 2019/9/30・お一人様1回限り

ダビングセンター全サービス対象
10,000円以上ご利用で
800円割引クーポン
有効期限 2019/9/30・お一人様1回限り

ダビングセンター全サービス対象
30,000円以上ご利用で
1,500円割引クーポン
有効期限 2019/9/30・お一人様1回限り

おすすめ映像

車好きなら要チェック「StartYourEnginesX」



今回で紹介するのは、元レーシングドライバーであり、モータージャーナリストの清水和夫氏が、様々な車のテストを行い評価するYouTubeのコンテンツです。

様々な車をサーキットに持ち込み、加速やブレーキ性能、水たまりでのブレーキ性能、高速走行での緊急回避的なレーンチェンジのテストなど、車の限界性能をテストします。日頃私達が見ることができない車の挙動やプロの視点の評価を知ることができます。

技術水準が上がったことにより、特に日本車に関しては素人の私たちが普通に運転していると、全く問題なく、安全だと考えています。しかし、StartYourEnginesXのテスト映像を見ると、限界性能において

は、やはりドイツ車などにはかなわないのかと考えさせられます。もちろん、素人の私達がサーキットで走ることはないのですが、事故の瞬間というのは、恐らくそうした車の持つ限界性能が生死を分ける瞬間があると思います。例えば、雨の日の高速道路を走行中に、突然前方車が事故で停止した。自車が急ブレーキをかけた時に、ブレーキ性能により衝突するかどうかが決まってきます。そのわずかな違いが生死を決するでしょう。

そのような観点でStartYourEnginesXのテスト映像を見ると、車に対する違った見方を持つことができるでしょう。車好きな方は是非一度ご覧ください。



2019年9月～

メディアバックアップサービス開始

スマートフォンやHDDカメラなどのデータを、USBメモリーやBlu-rayなどにバックアップするのは案外面倒なものですよね。そんな方のために、メディアバックアップサービスを始めました。大切な写真や映像データを手軽にバックアップすることができます。店頭での受付も可能なので、お気軽にご来店ください。

2019年5月～

ビル名変更につきまして

弊社の東京本社が入居しておりますビルの名前が変更となりました。所在地に変更はございませんので、何卒よろしくお願いいたします。

住所: 東京都新宿区新宿2-1-9

(旧) ステラ新宿4F → (新) AIRA新宿御苑ビル4F

消費税増税に関しまして

消費税の税率が2019年10月1日から10%に変更となります。つきましては、10月1日以降に弊社サービスのご利用代金をご請求する場合は、税率を10%にて計算させていただきます。事前のお見積りにて、消費税8%の税率でお見積りしていた案件に関しまして、**ご請求が2019年10月1日以降になる場合は、税率10%でのご請求となります**ので、何卒ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。



映像の役に立つ情報満載

リンクイット・ダビングセンター NewsLetter

バックナンバーはこちらから

<http://www.tokyo-dc.jp/newsletter>

お問い合わせ

リンクイット
ダビングセンター

0120-970027

ホームページ

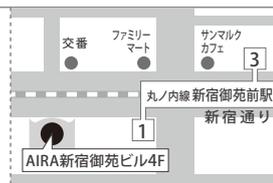
www.tokyo-dc.jp

東京 (東京ダビングセンター)

〒160-0022 新宿区新宿2-1-9 AIRA新宿御苑ビル4F

月一土 10:00~18:00 (日・祝祭日休み)

東京メトロ丸ノ内線 新宿御苑前駅より徒歩1分



大阪 (大阪ダビングセンター)

〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-20 松栄ビル7F

月一金 10:00~18:00 (土日・祝祭日休み)

御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩1分

